2002/12/05

移動準備調査

担当：江尻

機器名：OH1st 電源

種類：電源

構成： コンデンサー電源（36？箱)、充電器（リレー、リアクタンス、充電抵抗、充電抵抗冷却用ファン、昇圧トランス、スタートイグナイトロン（２本)、クローバーイグナイトロン（２本)、ブスバー、クローバー用ステンレス抵抗体、ブロックコイル（４個）

入力：３相 200V（充電器用)、単相 100V（ファン用)、制御信号、イグナイトロントリガー（BNC２本），冷却水。

出力：高圧 4.5kV、充電電圧モニター

設置場所：66 号室

処理方法：移動

作業要領（作業時間 x 作業人数）：

(0)調査、写真（2 時間 x１人）

(3)記録整理印刷

(*)業者による移動

廃棄：特になし

材料として持っていくもの：ブスバー

備考：回路図未完成。ブロックコイルのアルミ接点は分解時に調査。

課題：充電抵抗の温度モニター（現在は感熱ラベル)。最大温度は 7 分放電（10 分間隔）で 160？度。

OH コイル電流の両振り、制御。

充電器全景。右奥が充電器昇圧トランス。

左が充電器の２次側？の充電抵抗。左手前は OH1st クローバー用？パルサー（イグナイター回路）

右手前は、高圧同軸ケーブル群とそれらの結合点。

手前が 2 次側？の充電抵抗。右奥が昇圧トランス。左が充電器（リアクタンス、設置器､）

OH1st１次側の充電抵抗１２個と冷却用ファン？個

OH1st のクローバー用イグナイトロン。２本並列に接続し、使用。冷却水とフィーダーが接続されている。右側に並んでいるのは、コンデンサー群。コンデンサーは４個で１箱。この箱を３段積み。各箱から高圧同軸ケーブルが一本でている。

OH1st スタートイグナイトロン。２本並列にして使用。ロゴスキーコイルがイグナイトロンの１本、および２本の合計を計るためについている。

手前は、OH1st 電源とブロックコイルをつなぐブスバー。その奥は、クローバーに直列に入っているステンレス抵抗体。

OH1st ブロックコイル（４個）とフィーダーへの接続部